2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社ハルメクホールディングス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7119	URL	http://halmek-holdings.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	宮澤　孝夫
問合せ先責任者	（役職名） 取締役ＣＦＯ	（氏名）	石井　文範　　(TEL) 03(6272)8222
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月10日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	16,291	△2.9	910	32.0	885	32.7	570	30.6	570	30.6	570	30.6
2026年３月期中間期	16,779	△0.8	689	66.9	667	70.8	436	61.9	436	61.9	436	61.9

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	51.57	50.79
2026年３月期中間期	39.66	39.17

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	21,037	9,280	9,280	44.1
2026年３月期	21,164	8,893	8,893	42.0

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	—	15.00	—	19.00	34.00
2027年３月期	—	20.00			
2027年３月期(予想)			—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	3.5	2,000	12.7	1,950	12.9	1,200	14.2	1,200	14.2	108.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　１社（社名）株式会社ヴォーグ学園　、除外　　ー社（社名）ー

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年３月期中間期	11,106,405株	2026年３月期	11,045,988株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	47株	2026年３月期	47株
③　期中平均株式数(中間期)	2027年３月期中間期	11,055,608株	2026年３月期中間期	11,004,353株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の３ページをご参照ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 4
（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 …… 6
要約中間連結損益計算書 …… 6
要約中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）要約中間連結持分変動計算書 …… 8
（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10
（重要な後発事象） …… 13

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境において改善が見られる一方、不安定な海外情勢に伴うエネルギー価格高騰を主因とした物価上昇が継続しており、個人消費は緩やかな回復傾向に留まっております。物価上昇に起因する生活防衛意識の高まりから、個人消費には慎重な姿勢も見られることや、金融政策の変更及び読みづらい米国の通商政策などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、雑誌企画と連動して全国各地で行ったＡＩ講座や、10年ぶりに行ったハルメク誌の表紙・誌面リニューアルなど、マーケティング施策の進化を進め、国内全雑誌における販売部数でNo.１（※）を維持し、読者数は2026年４月から2026年９月までの半年平均で41万人（前年同期：45万人）となっております。（※出所：一般社団法人日本ＡＢＣ協会発行社レポート（2026年上期実績））

物販におきましては、「大人の薄層化に発酵で応える」をテーマに売り出したコスメ商品や「ひざのお悩みに応える」健康食品が売上を伸ばしたほか、全国22店舗を構える「ハルメク おみせ」においても売上を伸ばした一方、広告効率が悪かったファッションに関する新聞広告を前年比で大きく抑制したことから、ハルメク物販全体では前年同期比で売上は減収、利益は増益となりました。ことせ事業においては、前年度まで収益改善のために新規顧客獲得のための広告投資を絞った影響でカタログ配布先が減少していることから、売上は前年同期比で減収となっております。また新規顧客を獲得し、カタログ配布先を増やすための広告を再開していることから、利益も前年同期比で減益となっています。

コミュニティ事業においては、ハルメクeventsという専門サイトから多くのお申し込みを頂いており、イベントの種類も多種多様なものを企画しております。以前からご好評頂いている「花さんぽ」のほか、ルーヴル美術館展の解説講座など話題性が高いイベントや、法人向けイベントも開始し、売上、参加者数ともに前年同期比で伸長いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上収益は、16,291百万円（前年同期比487百万円減、2.9％減）、営業利益は、910百万円（前年同期比220百万円増、32.0％増）、税引前中間利益は、885百万円（前年同期比218百万円増、32.7％増）、親会社の所有者に帰属する中間利益は、570百万円（前年同期比133百万円増、30.6％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上収益及びセグメント利益又は損失は社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

＜ハルメク事業＞

当中間連結会計期間においては、深い顧客理解に基づく読者に寄り添った誌面作りにより、雑誌「ハルメク」において国内全雑誌における販売部数No.１を維持したほか、物販においては機能面で優れた商品をライフスタイルと共に提案し売上を伸長いたしました。また、広告効率が悪く利益悪化要因となっていた新聞広告を抑制したことで、新聞広告から得られる売上は減少しつつも、利益率を改善することができたため、情報コンテンツ及び物販において売上が前年同期比で減収となった一方で、利益は大きく伸長することができました。

以上の結果、売上収益は13,164百万円（前年同期比358百万円減、2.6％減）、セグメント利益は782百万円（前年同期比183百万円増、30.6％増）となりました。

＜ことせ事業＞

当中間連結会計期間においては、前年度まで収益改善のために新規顧客獲得のための広告投資を絞ったことにより、カタログ送付先が一時的に減少してしまった影響からカタログ配布先が減少し、売上は前年同期比で減収となっております。また現在は新規顧客獲得に向けた広告投資を再開していることから、新規顧客数は上向いてきている一方で、広告投資再開により利益は前年同期比で減益となっております。

以上の結果、売上収益は3,239百万円（前年同期比158百万円減、4.7％減）、セグメント損失は43百万円（前年同期はセグメント損失31百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ126百万円減少し21,037百万円となりました。

流動資産は162百万円減少し、8,146百万円となりました。主な要因は、棚卸資産が560百万円、営業債権が30百万円増加した一方で、現金及び現金同等物が758百万円減少したことによるものであります。

非流動資産は35百万円増加し、12,890百万円となりました。主な要因は、のれんが93百万円、その他の金融資産が64百万円増加した一方で、無形資産が91百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ513百万円減少し11,756百万円となりました。

流動負債は505百万円減少し、8,466百万円となりました。主な要因は、リース負債が105百万円増加した一方で、未払法人所得税が398百万円、その他の流動負債が180百万円、契約負債が32百万円減少したことによるものであります。

非流動負債は8百万円減少し、3,290百万円となりました。主な要因は、引当金が54百万円、その他の金融負債が54百万円増加した一方で、リース負債が117百万円減少したことによるものであります。

（資本）

当中間連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ387百万円増加し9,280百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当による209百万円の減少と、親会社の所有者に帰属する中間利益の計上による570百万円の増加であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初予想時点から大きく乖離しないものと考えており、2026年５月15日に公表いたしました2026年３月期決算短信に記載の連結業績予想から変更はありません。

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,778	2,019
営業債権	1,725	1,756
棚卸資産	3,440	4,001
未収法人所得税	1	―
その他の流動資産	363	369
流動資産合計	8,308	8,146
非流動資産		
有形固定資産	448	446
使用権資産	2,562	2,552
のれん	4,452	4,545
無形資産	4,851	4,759
繰延税金資産	168	168
その他の金融資産	330	394
その他の非流動資産	41	23
非流動資産合計	12,855	12,890
資産合計	21,164	21,037

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,900	1,900
営業債務及びその他の債務	2,234	2,236
契約負債	2,512	2,479
リース負債	579	685
未払法人所得税	683	284
その他の流動負債	1,060	880
流動負債合計	8,971	8,466
非流動負債		
リース負債	2,058	1,940
引当金	131	186
繰延税金負債	1,081	1,081
その他の金融負債	27	81
非流動負債合計	3,298	3,290
負債合計	12,270	11,756
資本		
資本金	2,098	2,112
資本剰余金	2,326	2,339
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	5	5
利益剰余金	4,463	4,823
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,893	9,280
資本合計	8,893	9,280
負債及び資本合計	21,164	21,037

（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

中間連結会計期間

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
	百万円	百万円
売上収益	16,779	16,291
売上原価	7,194	6,884
売上総利益	9,585	9,407
販売費及び一般管理費	8,914	8,499
その他の収益	19	7
その他の費用	0	4
営業利益	689	910
金融収益	2	4
金融費用	25	30
税引前中間利益	667	885
法人所得税費用	230	315
中間利益	436	570
中間利益の帰属		
親会社の所有者	436	570
中間利益	436	570
１株当たり中間利益		
基本的１株当たり中間利益（円）	39.66	51.57
希薄化後１株当たり中間利益（円）	39.17	50.79

要約中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
	百万円	百万円
中間利益	436	570
中間包括利益	436	570
中間包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	436	570
中間包括利益	436	570

（３）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	
				新株予約権	合計			
2025年４月１日時点の残高	2,082	2,309	△0	5	5	3,797	8,195	8,195
中間利益	―	―	―	―	―	436	436	436
中間包括利益合計	―	―	―	―	―	436	436	436
剰余金の配当	―	―	―	―	―	△219	△219	△219
株式に基づく報酬取引	0	0	―	―	―	―	1	1
新株予約権の行使	0	0	―	△0	△0	―	0	0
所有者との取引額等合計	1	1	―	△0	△0	△219	△217	△217
2025年９月30日時点の残高	2,083	2,310	△0	5	5	4,014	8,414	8,414

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	
				新株予約権	合計			
2026年４月１日時点の残高	2,098	2,326	△0	5	5	4,463	8,893	8,893
中間利益	―	―	―	―	―	570	570	570
中間包括利益合計	―	―	―	―	―	570	570	570
剰余金の配当	―	―	―	―	―	△209	△209	△209
株式に基づく報酬取引	2	2	―	―	―	―	4	4
新株予約権の行使	10	10	―	△0	△0	―	20	20
新株予約権の発行	―	―	―	1	1	―	1	1
所有者との取引額等合計	13	13	―	0	0	△209	△182	△182
2026年９月30日時点の残高	2,112	2,339	△0	5	5	4,823	9,280	9,280

（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	667	885
減価償却費及び償却費	554	612
有形固定資産及び無形資産除却損	0	2
金融費用	25	30
営業債権の増減額（△は増加）	△51	32
棚卸資産の増減額（△は増加）	△151	△529
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	425	△53
契約負債の増減額（△は減少）	△230	△277
未払賞与の増減額（△は減少）	34	△70
その他	△23	△124
小計	1,250	507
利息及び配当金の受取額	2	4
利息の支払額	△10	△15
法人所得税の還付額	3	1
法人所得税の支払額	△197	△681
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,047	△182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△84	△22
無形資産の取得による支出	△98	△140
新規連結子会社の取得による収入	―	249
その他	△11	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194	96
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	―	△30
長期借入金の返済による支出	―	△116
株式の発行による収入	1	21
配当金の支払額	△219	△209
リース負債の返済による支出	△292	△338
財務活動によるキャッシュ・フロー	△511	△672
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	342	△758
現金及び現金同等物の期首残高	2,394	2,778
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,737	2,019

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

（１）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは「ハルメク事業」及び「ことせ事業」の２つの事業を事業セグメント及び報告セグメントとしております。当社グループでは、これらの報告セグメントに属するサービスの全て又はその一部を行う単位で株式会社として組織化しており、各セグメントに属する組織の財務情報を集計することによって、各報告セグメントを評価しております。

各報告セグメントに属するサービスは下記のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品及びサービス
ハルメク事業	シニア女性向け雑誌「ハルメク」の出版・通信販売事業「ハルメク」・広告事業・イベント等の文化事業・新聞単品外販・店舗等
ことせ事業	シニア女性向け通信販売事業「ことせ」・広告事業等

（２）報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法

報告セグメントの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法について、要約中間連結財務諸表との主な調整の内容は以下のとおりです。なお、セグメント情報は、社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

また、セグメント間収益は、市場価格を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。

① 代理人取引の相殺消去

当社グループは、広告事業の一部として、法人顧客へ、広告取扱業者への取次を含めたコンサルティングサービスを提供しております。履行義務に代理人として関与する行為が含まれている場合には、その取扱金額は収益より控除されますが、セグメント収益の算定上、総額で記載しております。

② 収益認識時点の修正

当社グループは、通信販売事業を行っております。IFRSでは履行義務を充足した時点、すなわち、顧客に商品を引渡した時点で収益として認識されますが、セグメント収益の算定上、商品の出荷時点で収益として認識しております。

③ のれんの償却

IFRSでは、認識したのれんについて償却を行わず、年に一度又は減損の兆候が存在する場合にはその都度、減損テストを行うことを要求しておりますが、セグメント利益の算定にあたっては連結子会社が会社法上認識しているのれんについて、20年で償却した費用を計上しております。

④ 無形資産の償却

当社は企業結合により、無形資産として顧客関連資産等を認識しております。当該無形資産について見積耐用年数に従って償却が行われますが、セグメント利益の算定にあたっては償却費を計上しておりません。

⑤ 非金融資産の減損による影響

当社は企業結合の際に、ことせ事業セグメントの使用権資産及び無形資産について減損を行っており、IFRSで

は当該減損した使用権資産及び無形資産に関連する減価償却費及び償却費が計上されておりません。セグメント利益の算定においては、これらの資産にかかる賃借費用及び償却費を計上しております。

⑥　その他調整額

その他には、上記以外の調整項目が含まれております。

（３）　報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	連結
	ハルメク事業	ことせ事業	計		
売上収益					
外部収益	13,521	3,393	16,914	△134	16,779
セグメント間収益	1	4	5	△5	―
売上収益合計	13,522	3,397	16,919	△140	16,779
セグメント利益(△は損失)	598	△31	567	104	671

連結のセグメント利益は、要約中間連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	連結
	ハルメク事業	ことせ事業	計		
売上収益					
外部収益	13,159	3,205	16,364	△72	16,291
セグメント間収益	5	33	38	△38	―
売上収益合計	13,164	3,239	16,403	△111	16,291
セグメント利益(△は損失)	782	△43	738	168	907

連結のセグメント利益は、要約中間連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

（４）報告セグメント合計額と要約中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

①　売上収益

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
報告セグメント計	16,919	16,403
調整額		
セグメント間取引消去	△5	△38
①代理人取引の相殺消去	△39	△72
②収益認識時点の修正	15	41
⑥その他調整額	△110	△41
調整額合計	△140	△111
売上収益	16,779	16,291

②　セグメント利益から税引前中間利益への調整表

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
報告セグメント計	567	738
調整額		
②収益認識時点の修正	17	17
③のれんの償却	201	201
④無形資産の償却	△144	△144
⑤非金融資産の減損による影響	4	1
⑥その他調整額	26	92
調整額合計	104	168
合計	671	907
その他の収益	19	7
その他の費用	0	4
営業利益	689	910
金融収益	2	4
金融費用	25	30
税引前利益	667	885

（５）製品及びサービスに関する情報

「（３）報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報」の中で同様の開示をしているため、記載を省略しております。

（６）地域に関する情報及びセグメントごとの資産の金額に関する情報

当社グループにおける売上収益は全て本邦のものであり、また、当社グループの非流動資産は全て本邦にあることから、地域ごとの情報は省略しております。

（７）主要な顧客に関する情報

単一の外部顧客との取引による売上収益が当社グループの売上収益の10%を超えるものはありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。